

■ 9:30 - 11:50 (80分)

「アピアランスケアを社会課題として考える」

のざわ けいこ
野澤 桂子 先生

目白大学 看護学部 看護学科 教授



立教大学法学部法学科卒業。1996～1998年、フランス滞在時、医療・福祉領域の患者支援に関心をもつ。帰国後、目白大学大学院心理学研究科後期博士課程を修了して博士号、臨床心理士・公認心理師資格を取得。山野美容芸術短期大学美容福祉学科教授、国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センターセンター長を経て、2021年より現職。

講義内容

がんや治療による見た目の変化は、当事者にどんなつらさをもたらすのでしょうか。外見のこと、社会との関わり、そして気持ちの3つの面からその理由を考えます。アピアランスケア(外見ケア)を単なる美容的な支援にとどめず、より広い“社会課題”として捉えた支援のあり方を、ともに考えましょう。

この講義での到達目標

- ① アピアランスケア(外見ケア)についての知識を得る
- ② 対話を通して課題解決への行動につなげる考え方や姿勢を培う



■ 12:00-12:30 (30分) ランチョン Meeting

「がん教育を当事者視点で考える」

おぐち ひろみ
小口 浩美 さん

一般社団法人 LINKOS 共同代表
がんサポートおむすび 代表



2015年がん告知を受ける。2021年「任意団体がんサポートおむすび」を設立し、がん患者・家族などへの支援と図書館でのがん教室に力を入れている。2024年地域・立場を超えて“がん教育外部講師”をつなぎたいと**考え**、愛知の彦田かな子さんと＜がん教育＞に特化した「一般社団法人 LINKOS」を設立。長野県がん教育外部講師/長野県がん登録事業推進委員会委員/信州大学医学部附属病院、相澤病院などでピアサポーターに登録/認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン認定乳がん体験者コーディネーター(BEC)12期

講義内容

文部科学省は、子どもたちががんや予防について正しい知識を持ち、がん患者への偏見をなくすことを目的に、学校での「がん教育」を推進しています。しかし、外部講師の確保が難しいことや授業の質のばらつき、学校の受け入れ体制などの課題もあります。今回は、私たち LINKOS の考えるがん教育の課題と、その解決のために私たちが行っている取り組みを事例として共有します。未来を担う子どもたちへのがん教育について、一緒に考えましょう。

この講義での到達目標

- ① がん教育の現状と課題を知る
- ② 当事者視点での課題解決への取り組み事例を知る



■ 12:50-14:00 (70分)

がん患者や市民の声を聴き、意見を尊重するアドボカシー
～身近にできる支援を考える～

おおい けんいち
大井 賢一 さん

認定 NPO 法人がんサポートコミュニティー
事務局長



1996年明海大学歯学部卒業。歯科医師。明海大学歯学部助手を務めるなか父親のがん体験から死生学に関心を抱く。2002年がんサポートコミュニティー参画、03年プログラムディレクター就任、12年より現職。13～17年港区在宅緩和ケア支援推進協議会委員として港区立在宅緩和ケア支援センター開設に関わる。09年～東京都がん対策推進協議会委員、22年～厚生労働省がん対策推進協議会構成員として第4期がん対策推進基本計画の策定に関わる。

講義内容

アドボカシー(advocacy)という言葉は、「声を上げる」という意味のラテン語に由来します。困っている人や不利益を受けている人のために声をあげ、その人たちの権利や思いを社会に届ける活動を広く意味します。

自分の思いや必要なことを自分自身で伝える「自己擁護」、自分や身近な人のために声を上げる「個人擁護」、そしてより多くの人のための「制度擁護」。この段階的な取り組みについて、私たち認定 NPO 法人がんサポートコミュニティーの活動と第4期がん対策推進基本計画の策定への関わりを踏まえてお話します。誰もがその人らしく、必要な医療や支援を衡平(こうへい)に受けられる社会を実現するために、私たちはどんな声を上げ、どんな行動をしていけばいいか。一緒に考えていきましょう。

この講義での到達目標

- ① 日本のがん対策についての理解が進む
- ② 課題解決と実践に結びつける基本姿勢を培う

■ 14:10-16:40 (150分)

「仲間とともに行動を広げるために」

～ワークショップ(ストーリー・オブ・セルフ)～

きやま ゆうか
木山 侑香 さん特定非営利活動法人コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン
コミュニティ・オーガナイザー

2011年の原発事故で分断された地域のつながりを取り戻す活動に関わり「住民主体のまちづくり」を模索する中で、コミュニティ・オーガナイズングに出会いました。「一人ひとりには力があり、仲間と一緒になら変えられる！」そんな勇気と希望を大切に、地域や社会に変化をつくる力を引き出すことをサポートしています。

講義内容

コミュニティ・オーガナイズングとは、一人ひとりが持つ力を合わせて、自分たちの手で社会をより良くしていくための方法です。人と人がつながり、チームとして行動する中で、リーダーシップを発揮するための考え方がまとめられています。

今回のワークショップでは、その土台となる「自分の思いを伝える方法」を学びます。人が行動を起こすには、まず心が動くことが大切です。自分の経験や気持ちを伝える方法を学び、相手と思いを共有することで、一緒に行動する仲間が増えていきます。

自分の思いをストーリーにして伝え、最初の一步を踏み出しましょう。

この講義での到達目標

- ① 課題や活動内容を伝えたい相手に伝える力が備わる
- ② 課題解決に向けた仲間とつながり、ネットワークができる

